



2008年6月24日

各 位

会 社 名：アサヒビール株式会社  
代表者名：代表取締役社長 荻田 伍  
(コード：2502 東証・大証第1部)  
問合せ先：広 報 部 長 森田 健  
( T E L : 03 - 5608 - 5126 )

## 天野実業株式会社との資本・業務提携に関するお知らせ

当社は、2008年6月24日開催した取締役会において、天野実業株式会社(以下、「天野実業」といいます。)との間で、資本・業務提携を締結することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 資本・業務提携の背景と目的

アサヒビールグループは、酒類、飲料、食品を中心とした「食と健康」を事業領域として、国内及びアジアを中心とした地域において、お客様へ生涯を通じた価値提供を行なうことを方針として事業展開を行なっております。一方、天野実業は、真空凍結乾燥食品(フリーズドライ食品)、粉末調味料、レトルト食品等の食品製造機能を保有する企業であり、フリーズドライ食品においては、国内トップレベルの技術力と製造規模を持っています。また、当社グループ会社である和光堂株式会社(以下、「和光堂」といいます。)の業務委託先としてベビーフード等の生産を受託するなど、従来より当社グループと親密な関係にありました。

当社グループは、和光堂と取引関係がある天野実業のフリーズドライ技術に従来より注目しており、グループ全体で業務提携を検討してきました。今回、資本・業務提携を締結し、両社の関係を密にすることで、当社グループの和光堂、アサヒフードアンドヘルスケア株式会社、日本エフディ株式会社等と幅広く協業し、天野実業のフリーズドライ技術との融合により新たな食品の開発を行うほか、最適生産販売体制の確立も含めて当社グループ食品事業の更なる拡大を目指していきます。

フリーズドライ事業は即席麺の具材などを中心とする一般加工品事業と固形スープなどの成型加工品事業の二つの事業領域がありますが、後者の成型加工品事業は食生活の多様化に伴い、大きく伸びております。フリーズドライ技術の応用範囲は多岐にわたると考えており、

今後の成型加工品事業のマーケットはさらに拡大していくと考えております。

## 2．資本提携の内容

当社は2008年7月を目処に、天野実業の発行済株式の80%を約60億円で取得します。また、当社から天野実業に取締役を派遣し、天野実業は当社の連結子会社となります。

## 3．業務提携の骨子

乾燥食品事業における相互の協力関係の構築並びに、研究開発、原材料の調達、物流その他の各機能面における協業に加えて、天野実業とアサヒビールグループ相互の技術力及び営業力を活用した協力関係を構築することで、乾燥食品事業分野での圧倒的なトップグループとなることを目指します。

具体的な業務提携内容としては

- (1) 原材料の共同調達
- (2) フリーズドライ食品に関する相互補完的生産体制の確立
- (3) 共同物流によるコスト削減
- (4) 両社の販売チャネルを利用した商品販売
- (5) 共同研究開発・共同商品開発による新素材・商品開発
- (6) 中国を中心としたアジアにおける展開
- (7) 通信販売事業における受発注・出荷機能の統合・集約を進めていく予定です。

## 4．今後の見通し

本件が当社業績に与える影響は軽微です。

## 5．天野実業の概要

社名	天野実業株式会社
事業内容	カaramelの製造、粉末調味料の製造、真空凍結乾燥食品(フリーズドライ食品)の製造、スープおよび顆粒状食品の製造、レトルト食品の製造、健康食品の製造
本店所在地	広島県福山市道三町9番10号
設立	1947年5月8日
資本金	67.5百万円(2008年3月31日現在)
代表者	天野 肇
売上高	140億円(2007年9月決算期)

以上